

三嶋神社本殿御造営趣意書

謹啓 貴台一同様には益々ご清栄にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

平素は氏神様であります三嶋神社に深い尊崇の御心と格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成二十一年一月、三嶋神社氏子臨時総会において、三嶋神社本殿改築が承認されました。

当三嶋神社は西暦七三三年、平安時代に大山祇の神を勧請して氏神とし、祭祀されたものに始まり、昭和三十年熊野神社を合祀して総氏神となり、現在に至ります。その間、地区民の文化的、精神的な拠り所として崇敬されてきました。故里が大過なくここまで発展して参ったのも、これ偏に氏神様の尊い御神威の御加護によるものと存じ上げます。

現在の本殿の建築時期は定かではありませんが、相当に日時が経過しており、その上昭和十八年、昭和二十年頃の大洪水にも何度か浸水して御柱の腐朽などその老朽ぶりが目に余るようになりました。

ここに本殿改築の気運大いに高まり、一つには大御神様の御神徳に報恩の誠を捧げ、二つには氏子並びに有縁の皆様御繁栄を祈念致したく造営を発起した次第であります。

つきましては、これには多大な財源が必要となりますので、敬神の念厚い皆様には趣意をご賢察いただき、先般の臨時総会のおきまして五年間にわたる積立て資金を確保し、不足分は特別寄付にて調達する旨の決定をいたしておりますので、御奉賛、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。着工及び竣工を

尚、本殿は現境内に木造で改築再建されます。着工及び竣工を平成二十五年に予定しており、完成後は御芳名と御志納金額（十万円以上）を記念碑等に記させて戴く所存でございます。

平成二十一年五月吉日

敬具

建設委員会

委員長	宇都宮大朗
副委員長	林 友一
副委員長	岡田 周三
副委員長	井関 満永
副委員長	宇都宮喜久雄
会 計	山崎 武晃
監 事	土居原 洋
監 事 (顧問)	兵頭 勇
顧問	池田 忠幸
顧問	兵頭 學
顧問	兵頭 竜
三嶋神社副総代長	宇都宮喜行
三嶋神社責任役員	井関 一行
三嶋神社責任役員	水口 義一
三嶋神社宮司	和氣 利雄